

NEWS NEWS NEWS ニュース

1999年度日本語能力試験の結果について

昨年12月5日(日)に国際交流基金と(財)日本国際教育協会の共催で実施された、1999年度日本語能力試験の結果がまとまりました。試験は日本国外33の国・地域の75都市、日本国内6地域で実施され、日本国外で132,241人(前年度比約31%増)、日本国内で34,334人(同約16%増)が受験しました。

各級の受験者数、認定者数、平均点は、別表のとおりです。

級別	受験者数(人) A	認定者数(人) B	認定率(%) B/A	平均点 (400点満点)	
国 外	1級	27,523	9,837	35.7	255.6
	2級	36,388	11,931	32.8	216.4
	3級	39,278	20,836	53.0	240.8
	4級	29,052	11,988	41.3	221.7
	小計	132,241	54,592	41.3	-
国 内	1級	21,161	9,265	43.8	263.7
	2級	6,521	2,663	40.8	227.3
	3級	4,375	3,343	76.4	280.9
	4級	2,277	1,579	69.3	266.1
	小計	34,334	16,850	49.1	-
合計	166,575	71,442	42.9	-	

なお、2000年度の試験は12月3日(日)に実施されることになりました。詳細は、7月頃に下記までお問い合わせ下さい。

海外:

国際交流基金関西国際センター試験課
〒598 0093 大阪府泉南郡田尻町

*この欄にふさわしい情報やニュースがありましたら、下記までお寄せください。

国際交流基金日本語国際センター情報交流課
〒336 0002 埼玉県浦和市北浦和5 6 36

Research and Information Division, The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa, 6-36 Kita-Urawa 5-chome, Urawa-shi, Saitama 336-0002, Japan

りんくうポート北3 14
TEL: +81 724 90 2603
FAX: +81 724 90 2803
E-Mail: jlpinfo@jpf.go.jp
ホームページ:
<http://www.ijnet.or.jp/jpf/jlpt/contents/home.html>

国内:

財団法人日本国際教育協会
事業部日本語・統一試験課
〒153 8503 東京都目黒区駒場4 5 29
TEL: +81 3 5454 5215
FAX: +81 3 5454 5235
ホームページ:
<http://www.aieje.or.jp/index2.html>

第5回海外日本語教育研究会 「マレーシアの日本語教育」開催

平成12年3月11日(土) 国際交流基金日本語国際センターで第5回海外日本語教育研究会「マレーシアの日本語教育」が行われました。

研究会では、第1部でマレーシアにおける日本語教育の概要が報告された後、第2部でレジデンシャル・スクールと呼ばれる中等教育段階での日本語教育の紹介がありました。1984年開始当初の6校から29校に日本語科目設置校が増え、教師も日本から派遣された日本人教師からマレーシア人教師に変わってきた状況などが報告されました。第3部では、現地の予備教育課程を経て日本へ留学したマレーシア人学生の大学での適応や就職後の現地社会との関わりなどが報告されました。マレーシアは、国家的な政策の一部として今までに約1,600人の学部留学生を日本へ送っていますが、その一人と

して、この留学制度で日本で学んだマレーシア人日本語教師がその経験や感想を発表しました。

当日は100名あまりの出席者があり、それぞれの発表に熱心に耳を傾けていました。

この研究会の資料及び次回のお知らせは当センターのホームページに掲載されますので、ご興味をお持ちの方はぜひご覧ください。

著作権フリーの画像入り CD ROMを実費で配布

『日本語教育通信』第34号の「教育実践レポート」でも紹介した、Washington and Lee University(米国)の、東洋学部日本語科では、著作権を心配せずに教材として使える静止画/ビデオ画像を希望者に実費で配布しています。

食べ物、住居などの静止画が約430枚とビデオ画像が約2時間半分で、ビデオの内容は以下のとおりです。

1. カタカナ読み方練習用ビデオ(約1時間分)
 2. 「X(場所)にY(人/物)がいます/あります」(約15分)
 3. 「X(時間)にY(動作)をします」(約15分)
 4. 許容使役(約10分)
 5. 基本動詞(約10分)
 6. 時の表現「ところ」(約10分)
 7. 市販ビデオの映像の一部(約30分)
- これらの画像は、CD ROM 3枚で13ドル(郵送料込み)で配布されています。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.wlu.edu/~kujie/>

編集部から

3月について1998年日本語教育機関調査の結果を発表することができました。'98年の調査にご協力いただいた機関の皆様、ありがとうございました。

日本語教育国別情報ホームページ(<http://www.jpf.go.jp/j/urawa/kunibetsu/>)もあわせて開設いたしました。世界全体の状況を知りたい方は「海外の日本語教育の現状」を、国別の情報を知りたい方はホームページをご覧ください。

通信は、日本語国際センターの元研修生と、機関調査結果をもとにした世界115

カ国の日本語教育機関へ届けられています。さまざまな場所でさまざまな目的を持って日本語を学習している人、教えている人のお役に立つような通信をお届けしたいと思っています。

今号から日本語教育通信を担当することになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

(情報交流課 亀山 知美)

*編集部では、『日本語教育通信』に対するご意見や皆さんの学校の状況などを書いたお手紙をお待ちしています。

『日本語教育通信』第37号

2000年5月発行

発行・編集 国際交流基金
日本語国際センター 情報交流課
〒336 0002 埼玉県浦和市北浦和5 6 36
The Japan Foundation
Japanese-Language Institute, Urawa
(6-36 Kita-Urawa 5 chome, Urawa-shi,
Saitama 336-0002, Japan)
TEL 048 834 1184 FAX 048 830 1588
E-Mail jfnckt@jpf.go.jp
編集協力
財団法人 国際文化交流推進協会
Assoc. ACE Japan (Japan Association for
Cultural Exchange)
© 2000 by The Japan Foundation

(表紙イラスト: 村井宗二)